

澤田正雄 先生

新年度を迎え、韓国遠征から日本選手権に飛び何が何だかわからないような慌ただしさの中、始業式を明日に迎えることになりました。先生、その後お変わりないでしょうか？元気に歩かれる姿が目には浮かびます。

私は今年3年担任になりました。10年ぶりくらいの担任です。久しぶりに気合いが入っているかというところでもなく。入っていないかというところでもなくちょうどよい頃のモチベーションを持っている感じがします。

先日は韓国遠征お疲れ様でした。

先生の水泳生活・水球で培われた鋭いまなざしで飛び込み関係の練習やその他くまなく見て歩かれているなど見ていて頭が下がる気がします。

私事ですが日本選手権で男子高飛び込み決勝では私がコーチをしている宮本幸太郎選手が見事2位に入りました。1本1本手に汗を握る、でも大変おもしろい試合でした。すごく楽しかった試合でした。「こういう感覚はやっている人ではないとわからないよなあ。」なんて思ってしまいました。まさに「勝ちに不思議な勝ちあり、負けに不思議な負けなし」……他にも合宿に参加した選手・コーチも頑張っていました。(濱田先生も)

澤田先生は水球担当者ですがこれからますます中国ブロックの飛び込み界、さらには水泳全体のレベルアップ、またまたさらには日本の水泳界の発展へとお力を注がれる一人だと思います。私は以前、飛び込みプールをつくらないことを決めた山口県に対し批判的な思いを持っていました。でも今では、岡先生をはじめ飛び込み関係者の方々、そして今回、澤田先生というすばらしい先生に出会えたことをうれしく思います。

平成23年山口国体が是非成功することを祈念しております。そのためにも今後ますますのご活躍されますよう、お体に気をつけられ頑張ってください。また、いつかあの遠征合宿のようにご一緒できたらと思います。では、失礼します。

平成21年 4月 6日

安永 三郎

澤田先生に宛てたメールです。平成22年度中国高等学校水泳専門部連絡協議会(山口)で(H23年1月7日、8日)昨年、亡くなられたとの話を山口県水泳関係者からお聞きした。ご冥福をお祈りします。